

PRESENTATION SYSTEM

BEST AVAILABLE COPY

Patent number: JP9305645
 Publication date: 1997-11-28
 Inventor: HATANO TOYOJI
 Applicant: MISAWA HOMES CO LTD
 Classification:
 - international: G06F17/50; E04H1/00; G06T1/00
 - european:
 Application number: JP19960119383 19960514
 Priority number(s):

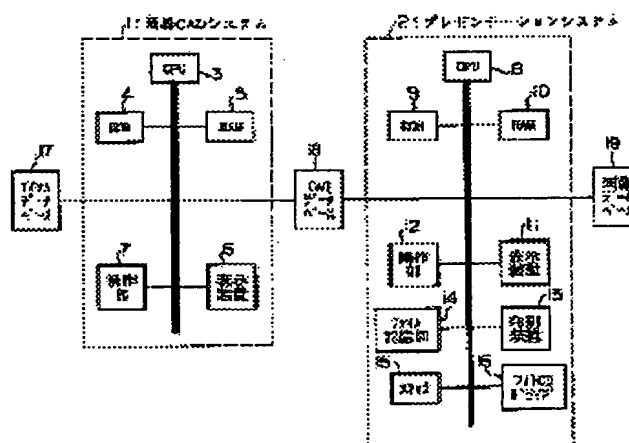
Also published as:

JP9305645 (

Abstract of JP9305645

PROBLEM TO BE SOLVED: To present a presentation system whereby an item photograph corresponding to the plan of a building is easily retrieved.

SOLUTION: An operator calls CAD data from a CAD database 18 and arranges it on a screen. CPU 8 reads an item article number list corresponding to the CAD data from the CAD database 18 to RAM 10. When the operator clicks a 'plan link photograph', CPU 8 retrieves a picture database 19 and picture data corresponding to an article number in the item article number list is read in RAM 10 and displays the item article number list and the photograph in a window. When the operator clicks 'whole selection', the whole photographs read in RAM 10 are superimposed with a floor plan and arranged at a proper interval (at this time, a mark is given in the right lower part of the respective photographs). The operator moves the photographs to a desired position.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 17/50			G 0 6 F 15/60	6 8 0 B
E 0 4 H 1/00			E 0 4 H 1/00	
G 0 6 T 1/00			G 0 6 F 15/60	6 0 8 B
				6 1 0 C
			15/62	K
審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 10 頁)				

(21) 出願番号 特願平8-119383

(22) 出願日 平成8年(1996)5月14日

(71) 出願人 000114086

ミサワホーム株式会社

東京都杉並区高井戸東2丁目4番5号

(72) 発明者 波多野 豊治

東京都杉並区高井戸東2丁目4番5号 ミ

サワホーム株式会社内

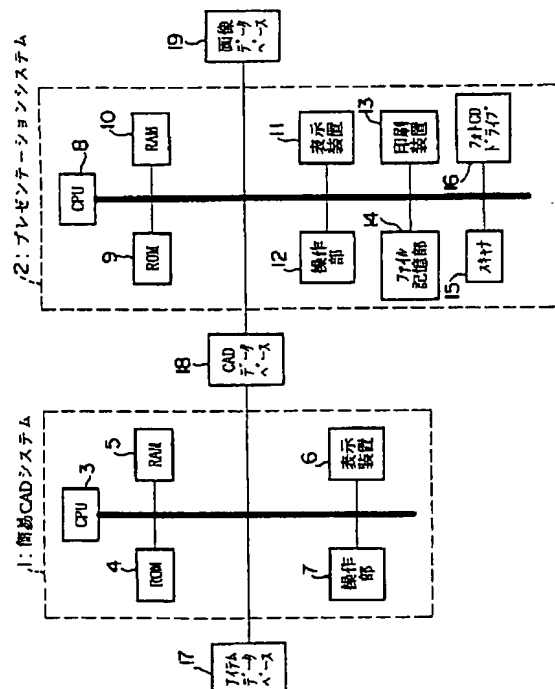
(74) 代理人 弁理士 志賀 正武 (外2名)

(54) 【発明の名称】 プレゼンテーションシステム

(57) 【要約】

【課題】 建築物のプランに対応したアイテムの写真の検索を簡単に行うことができるプレゼンテーションシステムを提供すること。

【解決手段】 オペレータは、CADデータベース18からCADデータを読み出し、画面上に配置する。CPU8は、該CADデータに対応するアイテム品番リストをCADデータベース18からRAM10に読み出す。オペレータが「プラン連動写真」をクリックすると、CPU8は画像データベース19を検索し、アイテム品番リスト中の品番に対応する画像データをRAM10に読み出す。CPU8は、ウィンド内にアイテム品番リストと写真を表示する。オペレータが「全て選択」をクリックすると、RAM10に読み出された全ての写真を、間取図に重ねて適当な間隔で配置する（このとき各写真の右下には印が付けられている）。オペレータは、これらの写真を好みの場所に移動させる。



1

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 表示画面上に建築画面、仕様写真、説明文等の配置情報を表示させてプレゼンテーション用資料を作成するプレゼンテーションシステムにおいて、建築物のプランが決定すると、該プランに適したインテリアやエクステリア等のアイテムの画像を、前記表示画面上に表示する画像表示手段を具備することを特徴とするプレゼンテーションシステム。

【請求項 2】 請求項 1 記載のプレゼンテーションシステムにおいて、前記画像表示手段による表示画像は、前記プレゼンテーション用資料で使用する画像の候補であり、本プレゼンテーションシステムは、前記画像表示手段による表示画像を前記プレゼンテーション用資料で使用するか否かを決定する決定手段を具備することを特徴とするプレゼンテーションシステム。

【請求項 3】 請求項 1 または請求項 2 のいずれかに記載のプレゼンテーションシステムにおいて、前記アイテムの画像を複数記憶する画像記憶手段を具備し、前記画像表示手段は、前記画像記憶手段から、前記プランに適したアイテムの画像を読み出し、該画像を前記表示画面上に表示することを特徴とするプレゼンテーションシステム。

【請求項 4】 請求項 1 ないし請求項 3 のいずれかに記載のプレゼンテーションシステムにおいて、写真等から画像データを読み込むスキャナを具備し、前記画像記憶手段は、前記スキャナが読み込んだ画像を記憶することを特徴とするプレゼンテーションシステム。

【請求項 5】 請求項 1 ないし請求項 4 のいずれかに記載のプレゼンテーションシステムにおいて、フォト CD から画像データを読み込むフォト CD ドライブを具備し、前記画像記憶手段は、前記フォト CD ドライブが読み込んだ画像を記憶することを特徴とするプレゼンテーションシステム。

【請求項 6】 請求項 1 ないし請求項 5 のいずれかに記載のプレゼンテーションシステムにおいて、前記プランは、CAD システムで作成された間取図や外観図等の図面であることを特徴とするプレゼンテーションシステム。

【請求項 7】 請求項 6 記載のプレゼンテーションシステムにおいて、前記 CAD システムは、複数のアイテムについて、少なくともアイテムの品番と仕様を記憶するアイテム記憶手段と、各アイテムの仕様を検討することによって、本 CAD システムが作成した図面に適したアイテムの品番を前記アイテム記憶手段からリストアップし、アイテムの品番リ

2

ストを作成するリスト作成手段と、

前記図面と前記品番リストとを対応付けて記憶するプラン記憶手段とからなり、

前記画像表示手段は、前記プランに対応する品番リストが指定するアイテムの画像を、前記表示画面上に表示することを特徴とするプレゼンテーションシステム。

【請求項 8】 請求項 1 ないし請求項 7 のいずれかに記載のプレゼンテーションシステムにおいて、

前記画像表示手段による表示画像には、所定の識別用印が付いていることを特徴とするプレゼンテーションシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、表示画面上に建築画面、仕様写真、説明文等を配置させてプレゼンテーション用資料を作成するプレゼンテーションシステムに関する。

【0002】

【背景の技術】従来より、住宅等の展覧会および展示会では、商品の特徴を簡潔に分かりやすくかつ見た目良く提示するために、プレゼンテーション用の資料（以下、「プレゼンボード」と称する）が作成されることが多い。住宅を一例にとると、上記プレゼンボードは、該住宅の外観図や間取図を中心に配置し、その周りに、各部屋（キッチンルームやリビングルーム等）や該各部屋で用いられるインテリア（システムキッチン、食器棚、照明等）、さらには各インテリアのバリエーション（色や材質等）の写真および説明文を配置した構成となっている。なお、以下の説明では、上記インテリアや該インテリアの構成部品（ドアのノブやキッチンの蛇口等）を総称して「アイテム」と呼ぶことにする。

【0003】出願人は、先に、コンピュータシステムを利用したプレゼンボード作成システム（以下、「プレゼンテーションシステム」と称する）を出願している（特願平 8-66929）。このプレゼンテーションシステムは、上記外観図や間取図を示す CAD データや、上記アイテムの写真および説明文等を、データベースに予め記憶しておき、オペレータの指示に従って、CRT ディスプレイ上に配置していくものである。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】ところで、上記プレゼンテーションシステムでは、間取図の周りに、該間取図内の各部屋で使用されるアイテムの写真を配置する場合、そのアイテムがその部屋で実際に使用可能であるか否かが分からず、そのことをいちいちカタログ等で調べなくてはならない、という課題があった。また、データベース内には多数の写真が記憶されているので、該写真の中から目的とする写真を探し出すのに手間がかかり、プレゼンボードのレイアウトに専念できない、という課題があった。

3

【0005】この発明は、このような背景の下になされたもので、外観図や間取図（すなわち、建築物のプラン）に適したアイテムの写真の検索を簡単に行うことができるプレゼンテーションシステムを提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】請求項1記載の発明は、表示画面上に建築画面、仕様写真、説明文等の配置情報を表示させてプレゼンテーション用資料を作成するプレゼンテーションシステムにおいて、建築物のプランが決定すると、該プランに適したインテリアやエクステリア等のアイテムの画像を、前記表示画面上に表示する画像表示手段を具備することを特徴とする。請求項2記載の発明は、請求項1記載のプレゼンテーションシステムにおいて、前記画像表示手段による表示画像は、前記プレゼンテーション用資料で使用する画像の候補であり、本プレゼンテーションシステムは、前記画像表示手段による表示画像を前記プレゼンテーション用資料で使用する可否かを決定する決定手段を具備することを特徴とする。請求項3記載の発明は、請求項1または請求項2のいずれかに記載のプレゼンテーションシステムにおいて、前記アイテムの画像を複数記憶する画像記憶手段を具備し、前記画像表示手段は、前記画像記憶手段から、前記プランに適したアイテムの画像を読み出し、該画像を前記表示画面上に表示することを特徴とする。請求項4記載の発明は、請求項1ないし請求項3のいずれかに記載のプレゼンテーションシステムにおいて、写真等から画像データを読み込むスキャナを具備し、前記画像記憶手段は、前記スキャナが読み込んだ画像を記憶することを特徴とする。請求項5記載の発明は、請求項1ないし請求項4のいずれかに記載のプレゼンテーションシステムにおいて、フォトCDから画像データを読み込むフォトCDドライブを具備し、前記画像記憶手段は、前記フォトCDドライブが読み込んだ画像を記憶することを特徴とする。請求項6記載の発明は、請求項1ないし請求項5のいずれかに記載のプレゼンテーションシステムにおいて、前記プランは、CADシステムで作成された間取図や外観図等の図面であることを特徴とする。請求項7記載の発明は、請求項6記載のプレゼンテーションシステムにおいて、前記CADシステムは、複数のアイテムについて、少なくともアイテムの品番と仕様を記憶するアイテム記憶手段と、各アイテムの仕様を検討することによって、本CADシステムが作成した図面に適したアイテムの品番を前記アイテム記憶手段からリストアップし、アイテムの品番リストを作成するリスト作成手段と、前記図面と前記品番リストとを対応付けて記憶するプラン記憶手段とからなり、前記画像表示手段は、前記プランに対応する品番リストが指定するアイテムの画像を、前記表示画面上に表示することを特徴とする。請求項8記載の発明は、請求項1ないし請求項7のいずれ

4

かに記載のプレゼンテーションシステムにおいて、前記画像表示手段による表示画像には、所定の識別用印が付いていることを特徴とする。

【0007】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して、この発明の実施形態について説明する。図1は、この発明の一実施形態によるプレゼンテーションシステムの構成例を示すブロック図である。この図に示すように、本システムは、簡易CADシステム1とプレゼンテーションシステム2とから構成される。なお、この図では、簡易CADシステム1とプレゼンテーションシステム2のそれぞれに対して、個別にCPUを割り当てているが、簡易CADシステム1とプレゼンテーションシステム2の処理をマルチプロセス化し、一つのCPUで処理しても構わない。

【0008】簡易CADシステム1は、建築物の間取図や外観図の製図に用いられるシステムであり、製図に関する機能は、通常のCADシステムと同じものである。この簡易CADシステム1において、3は該簡易CADシステム1各部を制御するCPU（中央処理装置）、4はCPU3において用いられる制御用プログラムが格納されているROM（リードオンリメモリ）、5は各制御用プログラムをロードしたり、該制御用プログラムの実行中にデータを一時的に記憶するRAM（ランダムアクセスメモリ）である。表示装置6は、一例として、CRTディスプレイおよびその表示回路から構成される。操作部7は、一例として、キーボードとマウスから構成される。ここで、キーボードは、文字や数字の入力に用いられ、マウスは、表示装置6の表示画面上に表示されたソフトスイッチの操作や、製図時における座標の指示等に用いられる。

【0009】プレゼンテーションシステム2は、プレゼンボードの作成に用いられるシステムであり、プレゼンボード作成に関する基本的な機能は、先に出願したプレゼンテーションシステム（特願平8-66929）と同じものである。故に、以下の説明では、上記プレゼンテーションシステム（特願平8-66929）と共通する部分については、その説明を省略し、異なる部分を中心に説明する。

【0010】このプレゼンテーションシステム2において、8はCPU、9はROM、10はRAMであり、本プレゼンテーションシステム2におけるそれぞれの機能は、簡易CADシステム1におけるCPU3、ROM4、RAM5と同じものである。表示装置11は、一例として、CRTディスプレイおよびその表示回路から構成される。図2は、表示装置11の表示画面の一例を示す説明図である。この図に示すように、表示装置11の表示画面上において、その中央部には、作成途中または完成したプレゼンボード、および、該プレゼンボードに貼り付けられる建築画面、仕様写真および説明文等の情

報(以下、「配置情報」と称する)を表示する画面主要部が設けられている。

【0011】また、上記表示画面の最上部には、作成するプレゼンボードの種類を指定するソフトスイッチ群(以下、「第1メニュー」と称する)が表示されている。また、上記表示画面の最左部には、配置情報(建築画面、仕様写真および説明文等)を選択し、呼び出すためのソフトスイッチ群(以下、「第2メニュー」と称する)が表示されている。また、上記表示画面の最下部には、画面主要部に表示されているプレゼンボードの保存を指示する「保存」ソフトスイッチ、ファイル記憶部14に記憶されているプレゼンボードファイルの削除を指示する「削除」ソフトスイッチ、画面主要部に表示されているプレゼンボードの印刷を指示する「出力」ソフトスイッチ、本プレゼンテーションシステム2の処理の終了を指示する「終了」ソフトスイッチから成る第3メニューが設けられている。

【0012】操作部12は、一例として、キーボードとマウスから構成される。ここで、キーボードは、文字や数字の入力に用いられ、マウスは、表示装置11の表示画面上に表示されたソフトスイッチの操作や、配置情報の選択および移動に用いられる。印刷装置13は、一例としてカラープリンタであり、表示装置11の表示画面上に表示されているプレゼンボードを印刷する。ファイル記憶部14は、一例としてハードディスク等の大容量記憶装置であり、各種プレゼンボードのファイルを記憶する。

【0013】スキャナ15は、カラー写真を直接読み込み、画像データを生成するためのものである。フォトCDドライブ16は、フォトCDから画像データを読み込むためのものである。なお、上記フォトCDは、カタログに掲載されている各アイテムの写真のオリジナルポジフィルム(該フィルムは通常プレゼンボード作成者が管理している)を、フォトCD作成の専門業者に渡して作成してもらうのが一般的である。

【0014】また、アイテムデータベース17、CADデータベース18、画像データベース19は、それぞれ一例として、ハードディスク等の大容量記憶装置で構成される。なお、この図では、上記各データベースをそれぞれ異なる構成装置として図示しているが、該各データベースを同一の構成装置(ハードディスク)内に設けても構わない。

【0015】アイテムデータベース17は、各アイテムについて、該アイテムの仕様(サイズ、重量、材質、強度等)を、該アイテムの品番と対応付けて記憶している。CADデータベース18は、簡易CADシステム1で作成された図面のデータ(CADデータ)と、該図面が示す各部屋で使用可能なアイテムのリスト(以下「アイテム品番リスト」と称する)とを対応付けて記憶している。画像データベース19は、各アイテムについて、

該アイテムの画像データ(写真)を、該アイテムの品番と対応付けて記憶している。

【0016】次に、上記構成によるプレゼンテーションシステムの動作を説明する。

§1. CADデータベースの作成

初めに、CADデータベース18の作成方法について説明する。なお、CADデータベース18の作成は、簡易CADシステム1で行われる。オペレータは、図示しない電源を投入し、本簡易CADシステム1を起動した後、通常のCADシステムと同様の手順で間取図を作成する。このとき、オペレータが、該間取図内の各部屋で使用するアイテム(窓、ドア、照明器具等)の選択を指示すると、CPU3は、アイテムデータベース17内に記憶されている各アイテムの仕様(サイズ、重量、材質、強度等)を検討した上で、該部屋で使用可能なアイテムのみをリストアップし、該部屋に対するアイテム品番リストを作成する。そして、CPU3は、CADデータ(間取図)と該アイテム品番リストとを対応させて、CADデータベース18に格納する。

【0017】§2. 画像データベースの作成

次に、画像データベース19の作成方法について説明する。なお、画像データベース19の作成は、プレゼンテーションシステム2で行われる。まず、オペレータが、図示しない電源を投入し、本プレゼンテーションシステム2を起動した後、画像取込の指示を入力すると、CPU8は、アイテムのカタログ掲載写真を、デジタル化した画像データとして取り込む。ここで、カタログ掲載写真のデジタル化としては、該カタログ掲載写真のオリジナルポジフィルムより作成されたフォトCDマスターから、フォトCDドライブ16を用いて、画像データを読み込む方法と、該カタログ掲載写真をスキャナ15で直接スキャンする方法の2通りがある。写真の取り込みが完了し、オペレータが、キーボードから品番、すなわち、該画像データ(写真)が示すアイテムの品番を入力すると、CPU8は、取り込んだ画像データと該品番とを対応させて、画像データベース19に格納する。

【0018】§3. プレゼンボードの作成

最後に、プレゼンボードの作成方法について説明する。なお、プレゼンボードの作成は、プレゼンテーションシステム2で行われる。オペレータが、図示しない電源を投入すると、CPU8はROM9に格納されたプログラムを読み出し、本プレゼンテーションシステム2を起動する。これにより、表示装置11の画面は、図2に示す状態となる。オペレータが、操作部12のマウスを用いてカーソルを動かし、第1メニューの「インテリアプレゼン」をクリックすると、CPU8は、表示装置11の画面を図3に示す状態とする。なお、ここでは、インテリアコーディネート用のプレゼンボード作成処理を例にとって説明しているが、本発明が適用される処理は、インテリアコーディネート用のプレゼンボード作成処理に限定

されず、エクステリアコーディネートや外観コーディネート等のプレゼンボード作成処理でも構わない。オペレータが、図3に示す「新規作成」をクリックすると、CPU8、画面主要部にプランニングコーディネートの初期画面を表示する。

【0019】次に、オペレータが、第2メニューの「CADデータ」をクリックすると、図4に示すように、CPU8は、「CADデータ読み込み」ウインドを開き、担当営業マンの一覧を表示する。オペレータが、表示された一覧の中から、一人の担当営業マンを選択すると、CPU8は、該一覧の右隣に、該選択された担当営業マンが担当する施主名の一覧を表示する。以下、同様の手順で、施主名が選択されるとプラン名の一覧が表示され、プラン名が選択されると図面種類及び図面名の一覧が表示されるので、オペレータはこれら一覧の中から順次一つずつ選択する。

【0020】図面種類及び図面名の選択が完了すると、図5に示すように、CPU8は、表示装置11に、選択されたCADデータ（間取図）を表示する。上記の手順によりCADデータが読み込まれると、CPU8は、読み込まれたCADデータに対応するアイテム品番リストを、CADデータベース18からRAM10に読み出す。次に、図5に示す間取図の隣に、各部屋で使用されるアイテムの写真を配置するわけであるが、この写真の配置方法としては、以下に述べる（1）および（2）の2通りがある。

【0021】（1）プラン連動写真の配置

図5に示す画面において、オペレータが、第2メニューの「プラン連動写真」をクリックすると、CPU8は、RAM10に読み出されたアイテム品番リスト内の全ての品番について、該品番に対応する画像データが、画像データベース19内にあるか否かを検索する。そして、読み出された品番に対応する画像データが、該画像データベース19内にある場合には、該画像データをRAM10に読み出す。

【0022】次に、図6に示すように、CPU8は、「アイテム品番リスト」ウインドを開き、該ウインド内にアイテム品番リストと画像データ（写真）を表示する。ここで、アイテム品番リスト内のアイテムが多すぎるために、全てのアイテムをウインド中に表示しきれない場合、オペレータが、該ウインド中に表示されているスクロール用のソフトスイッチを操作すると、CPU8は、アイテム品番リストを上下方向にスクロールさせる。このとき、CPU8は、該アイテム品番リストの下部に表示されている写真（以下、「プラン連動写真」と称する）については、変化させない。

【0023】そして、オペレータが、スクロールによってリスト中に現れたアイテムのうちの一つをクリックすると、その時点で初めて、CPU8は、上記プラン連動写真を、現在ウインド内に表示されているアイテム品番

リストに対応した写真（すなわち、該選択された写真を含む写真群）に変化させる。

【0024】なお、上記説明では、アイテム品番リストをスクロールさせる場合について説明したが、プラン連動写真をスクロールさせる場合も同様である。すなわち、オペレータが、スクロールスイッチを操作して、プラン連動写真をスクロールさせた後、スクロールによって現れた写真のうちの一つをクリックすると、その時点で初めて、CPU8は、該スクロールに対応して、アイテム品番リストの表示を変化させる。

【0025】上記の手順で、プラン連動写真を「アイテム品番リスト」ウインド中に表示した後、該写真を画面主要部に配置する方法としては、以下に説明する①および②の2通りがある。

【0026】① すべてのプラン連動写真を配置

オペレータが、「アイテム品番リスト」ウインド内の「全て選択」をクリックすると、CPU8は、RAM10に読み出された全ての画像データ（写真）を、画面主要部上の左上から右下に向かって（間取図に重ねて）適当な間隔で配置する。なお、このとき配置された各写真の右下には、該写真が間取図に連動して呼び出された写真（すなわち、プラン連動写真）であることを示すために、目立たない程度の小さな印（・）が付けられている。また、RAM10に読み出された画像データの数が多い場合には、CPU8は、各写真の一部を互いに重ね合わせながら、とりあえず全てのプラン連動写真を配置する。

【0027】オペレータが、適当な間隔で配置されているプラン連動写真のうちの1つを選択し、クリックすると、CPU8は、該選択された写真を移動可能とするので、オペレータは、該写真を好みの位置に移動させる。この際、マウスのドラッグ操作により、上記写真は拡大・縮小が可能である。

【0028】② 任意のプラン連動写真を配置

オペレータが、「アイテム品番リスト」ウインド内の「選択」をクリックし、次に、該ウインド内に表示された写真のうちの1つを選択し、クリックすると、CPU8は、該選択された写真を画面主要部に複写可能にすると共に、該選択された写真の説明文を画面主要部の左下欄に表示する。ここで、複写された写真は、画面主要部上において、自由に移動可能であるので、オペレータは、該写真を好みの位置に貼り付ける。この際、マウスのドラッグ操作により、上記写真は拡大・縮小が可能である。また、CPU8は、上記写真と一緒に、上記左下欄に表示されていた説明文も貼り付ける。なお、このとき配置された写真の右下にも、該写真が間取図に連動して呼び出された写真（すなわち、プラン連動写真）であることを示すために、目立たない程度の小さな印（・）が付けられている。

【0029】オペレータは、上記①または②の動作を繰

り返して、プラン連動写真を配置する。該配置終了後、オペレータが、「アイテム品番リスト」ウインド内の「閉じる」をクリックすると、CPU 8は、表示装置 11 上において、該ウインドを閉じる。

【0030】(2) 通常写真の配置

一方、図 5 に示す画面において、オペレータが、第 2 メニューの「写真」をクリックすると、図 7 に示すように、CPU 8は、「写真検索」ウインドを開き、呼び出された間取図内の部屋の一覧を、該ウインド内に表示する。オペレータが、表示された一覧の中から、一つの部屋を選択すると、CPU 8は、該一覧の右隣に、該選択された部屋で使用されるインテリアの一覧を表示する。次に、オペレータが、表示された一覧の中から、一つのインテリアを選択すると、CPU 8は、該インテリアの各部を構成する構成部分の一覧を表示する。そして、オペレータが、表示された一覧の中から、一つの構成部分を選択すると、CPU 8は、該選択された構成部分について、色や材質等が異なる様々なバリエーションの画像データ（写真）を、画像データベース 19 から RAM 10 に呼び出し、該写真を、「写真検索」ウインドの下部に表示する。

【0031】なお、この場合も、オペレータが、スクロールスイッチを操作して、インテリア一覧をスクロールさせた後、スクロールによって現れたインテリアのうちの一つをクリックすると、その時点で初めて、CPU 8は、該スクロールに対応して、写真の表示を変化させる。

【0032】オペレータが、ウインド内に表示された写真のうちの 1 つを選択し、クリックすると、CPU 8は、該選択された写真を画面主要部に複写し移動可能とするので、オペレータは、該写真を好みの位置に貼り付ける。このときも、マウスのドラッグ操作により、上記写真は拡大・縮小が可能である。なお、このとき配置された写真は、間取図に連動して呼び出された写真ではないので、プラン連動写真であることを示す印（・）が付いていない。オペレータは、上記動作を繰り返して、写真を配置する。該配置終了後、オペレータが、「写真検索」ウインド内の「閉じる」をクリックすると、CPU 8は、表示装置 11 上において、該ウインドを閉じる。

【0033】以上、オペレータは、上記（1）または（2）を繰り返して、表示装置 11 の画面主要部に写真を貼り付けていき、図 8 に示すようなプレゼンボードを完成させる。なお、図 8 では、右下に小さな印（・）の付いている写真がある。この印は、上述したように、間取図に連動して呼び出された写真にのみ付いており、これにより、プレゼンボード完成後も、オペレータは、その写真がプラン連動写真であることを判別できる。以上で、上記構成によるプレゼンテーションシステムの動作

説明を終了する。

【0034】以上、この発明の実施形態を図面を参照して詳述してきたが、具体的な構成はこの実施形態に限られるものではなく、この発明の要旨を逸脱しない範囲の設計の変更等があってもこの発明に含まれる。

【0035】次に、請求項記載の各手段と本実施形態との対応関係を説明する。

画像表示手段……CPU 8

決定手段……操作部 12

10 画像記憶手段……画像データベース 19

スキャナ……スキャナ 15

フォトCDドライブ……フォトCDドライブ 16

CADシステム……簡易CADシステム 1

アイテム記憶手段……アイテムデータベース 17

リスト作成手段……CPU 3

プラン記憶手段……CADデータベース 18

【0036】

【発明の効果】以上説明したように、この発明によれば、各プラン（外観図や間取図）に適したアイテムの写真の検索を簡単に行うことができる。また、プランに適したアイテムの写真だけが表示されるので、そのアイテムがそのプランで使用可能であるか否かを、いちいち調べる必要がない。

【図面の簡単な説明】

【図 1】この発明の一実施形態によるプレゼンテーションシステムの構成例を示すブロック図である。

【図 2】本実施形態による表示装置の表示例を示す説明図である。

30 【図 3】本実施形態による表示装置の表示例を示す説明図である。

【図 4】本実施形態による表示装置の表示例を示す説明図である。

【図 5】本実施形態による表示装置の表示例を示す説明図である。

【図 6】本実施形態による表示装置の表示例を示す説明図である。

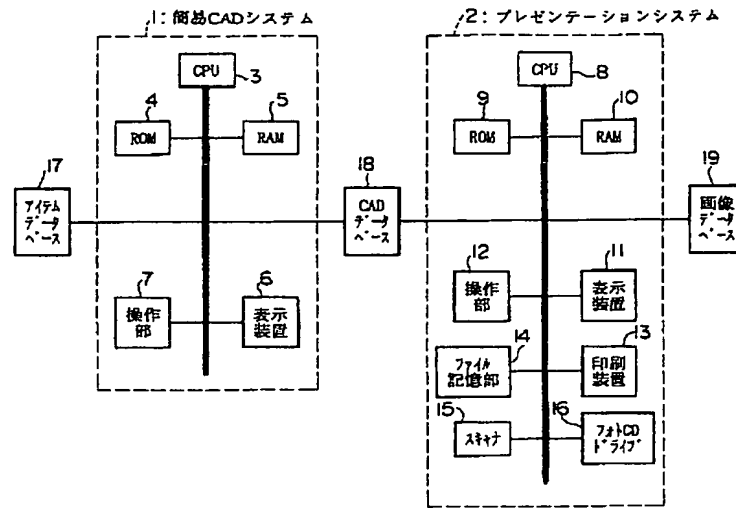
【図 7】本実施形態による表示装置の表示例を示す説明図である。

40 【図 8】本実施形態による表示装置の表示例を示す説明図である。

【符号の説明】

1……簡易CADシステム、2……プレゼンテーションシステム、3、8……CPU、4、9……ROM、5、10……RAM、15……スキャナ、16……フォトCDドライブ、17……アイテムデータベース、18……CADデータベース、19……画像データベース

【図1】



【図2】

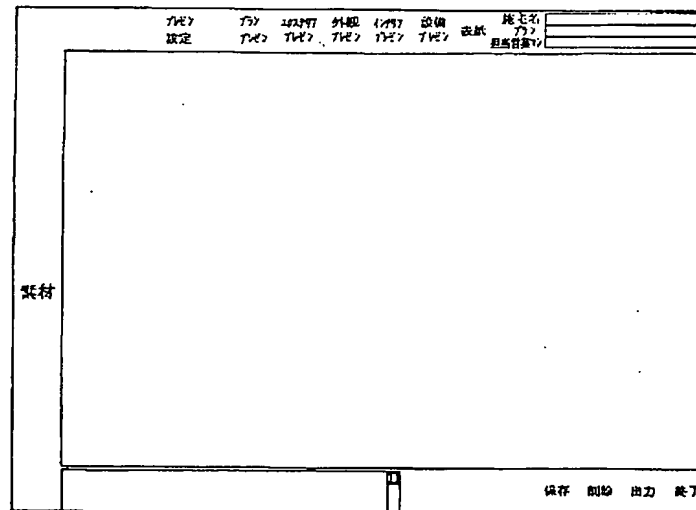
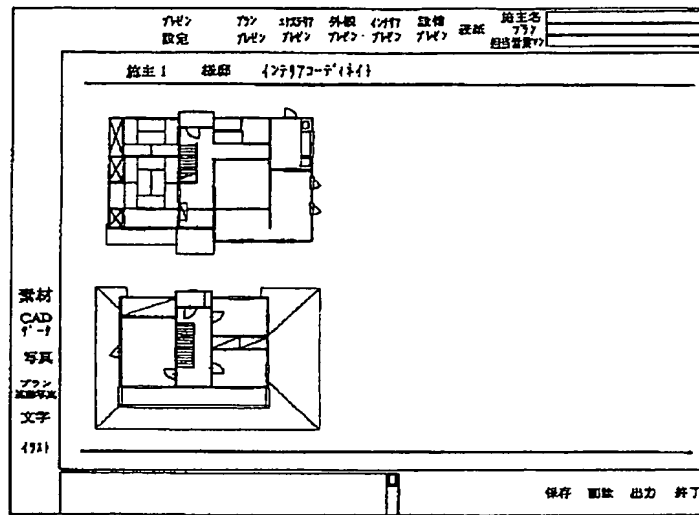


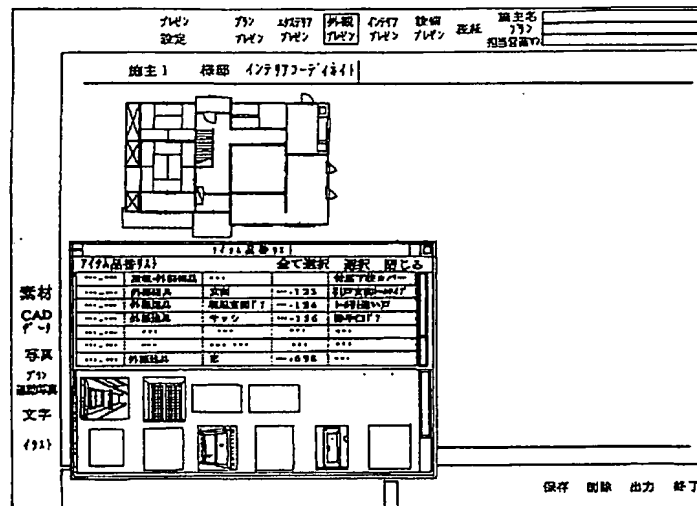
Figure 1: A screenshot of a CAD software interface. The top right corner features a title block with the following fields: 図名 (Drawing Name), 図番 (Drawing Number), 図尺 (Drawing Scale), 図単位 (Drawing Unit), 図紙 (Drawing Sheet), 図紙名 (Drawing Sheet Name), 図紙番号 (Drawing Sheet Number), 図紙単位 (Drawing Sheet Unit), 図紙名 (Drawing Sheet Name), 図紙番号 (Drawing Sheet Number), 図紙単位 (Drawing Sheet Unit). The main drawing area is mostly empty, with a small rectangular object visible at the bottom center. The status bar at the bottom shows '保存' (Save), '開' (Open), '出力' (Output), and '終了' (End).

[illegible]

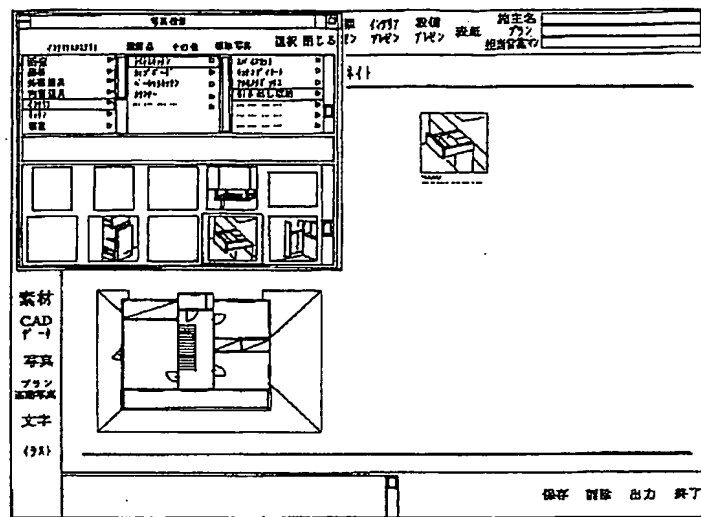
【図5】



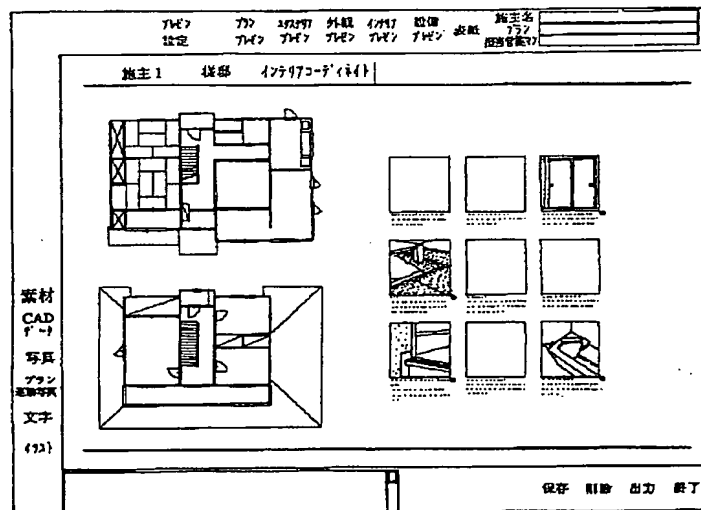
【図6】



【図7】



【図8】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.